



2026年5月発行 文責 にじいろこどもクリニック 院長 相澤知美

こんにちは。ゴールデンウィーク明けから、感染症が更に減少して、花粉症も落ち着いて、クリニックは一年で一番平和な時期かもしれません。子供たちが元気であれば何よりです。運動会シーズンですので、練習頑張りすぎて体調崩さないようにして下さい。

## < 感染症発生数 >

06 2026 JUNE



MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13 休診	14
15	16	17	18	19 16:30 まで	20 9:00 から	21
22	23	24	25	26 16:30 まで	27 9:00 から	28
29	30					

	5/7 ~9	5/11 ~16	5/18 ~22
インフルエンザ A	0	0	0
インフルエンザ B	0	2	0
新型コロナウイルス	0	0	0
マイコプラズマ	0	0	0
溶連菌	2	5	5
アデノウイルス	0	1	1
RS ウイルス	1	0	0
ヒトメタニューモウイルス	0	2	1

🌸 その他、胃腸炎の方は比較的多かったです 🌸

## 麻疹と感染経路の話

今年は関東の方で**麻疹**が流行しています。東京都での感染者数は、今年はすでに**244人**で、去年の**34人**と比べて非常に多くなっています。調べたところ、青森県は最近**5年間**は感染者数**0人**でした。

感染者が県内で発生すれば、必ずニュースになると思いますが、先日東京で発生した際も、コンサート会場へ行った方が麻疹を発症したとニュースになっていました。これは、麻疹が**空気感染**を起こす非常に感染力が強いウイルスだからです。

風邪のウイルスや、インフルエンザ、溶連菌など多くの感染症は**飛沫感染**と言って、ウイルスや菌の周りに水分の膜が張っている**飛沫**が鼻などの粘膜に接着して感染するもので、**1~2メートル以内**の距離で感染することが多いです。一方で、**結核、麻疹、水痘**は**空気感染**を起こす感染症なので、飛沫が乾いた後に数十メートル、長時間空気中をウイルスが漂います。なので、同じ教室、新幹線や飛行機、コンサート会場等の中にと、近くにいなくても感染する可能性があります。新型コロナウイルスが流行した時も、飛沫感染なのか空気感染なのか議論になっていましたが、コロナウイルスは主には飛沫感染で、換気が悪く、混雑して長期間滞在する場合は飛沫感染以上の距離でも感染し得るということに落ち着いたのかなと思います。

予防としてワクチン接種が大切ですので、**1歳**と**就学前の年長さん**の時の**麻疹・風疹ワクチン**の定期接種を忘れずに受けるようにしましょう。